

プラザハウスショッピングセンター

(プラザハウステナント会)

沖縄県沖縄市

！取組のポイント

沖縄市の歴史文化を象徴する「琉米文化」を資源として活用し、
沖縄市全体のイメージアップ及び波及効果の創出に貢献。

取組の背景

テナント会全体で商業環境の変化に対応

プラザハウスショッピングセンター（SC）は、戦後米軍統治下の沖縄で駐留米軍関係者の消費ニーズに舶来品等を提供する日本初のSCとして誕生した。

その後、琉球・沖縄の文化とアメリカ文化が混在する「琉米文化」を象徴する施設として、地域における歴史的商業施設となっている。

一方、周辺近隣市町村において大型小売店の進出が相次いでいるほか、消費者の意識・嗜好の変化など、商業環境は大きく変化している。特に2015年4月、本施設に隣接（約500m、徒歩6分）する北中城村に大型ショッピングモールがオープンしてからは、テナント会内の問題意識が高まっており、テナント会全体で魅力向上に取り組んでいる。

具体的な方向性として、創業61年の老舗として受け継いできた「琉米文化」のイメージを資源として活用することをコンセプトに、イベント実施や空間演出を行っている。

創業当時のプラザハウスSC



60周年のイベント



取組の内容

「琉米文化」のアンテナショップ開設で効果的なPRを実施

2014年度に国の補助事業を活用して整備したアンテナショップ「Rycom Anthropology」では、「琉米文化」、「ミッドセンチュリーモダン文化」を体感できる常設展、展示会、イベント等を実施し、集客効果を生み出している。

また、国道330号線沿いへ大型デジタルサイネージを設置し、大型ショッピングモールの出店をきっかけに増加した通行者への効果的なPRを行っている。

アンテナショップ「Rycom Anthropology」



大型デジタルサイネージによる広報



取組の成果

「琉米文化」のポテンシャルを再確認 コンセプトのさらなる深化、発展を目指す

「Rycom Anthropology」がオープンし、「琉米文化」を資源として発信することで新たな集客拠点となる可能性があると感じたことから、今後は商業施設全体で「琉米文化」を核としたソフト事業や施設整備を実施し、統一感のあるショッピングセンターとしてさらなる魅力向上を目指す。

また、2015年度には、現状分析や課題抽出について客観的なニーズ・マーケティング調査を実施しており、今後、当該調査結果を踏まえて、施設全体のブランド力強化に取り組む予定となっている。

テナント会では、創業当時、アメリカの黄金時代と夢を共有した地域のランドマーク的な商業施設として、今後も“琉米文化の発信拠点”の役割を強化していく予定である。

実施体制

当テナント会においては、毎月1回若手リーダーが参加する「テナントショップマスター会議」を開催しており、各店舗の顧客から寄せられた要望・クレーム情報の共有や、毎月の集客数、各店舗の売上報告、前年実績比較及び次月の販売促進内容についての検討などを行っている。

施設全体における集客・販売促進企画に関しても株式会社プラザハウスと一体となった実施体制を構築して積極的に取り組んでいる。

中心市街地活性化協議会幹事会にプラザハウスSCが参画していることもあり、沖縄市とも活性化に向けて日頃から頻繁に情報・意見交換を行っている。また、テナント会の店舗魅力向上や新規出店等に対する取組に対し、指導・助言や財政支援等が行われている。併せて、「沖縄市工芸フェア」等のイベント事業を共同で開催するなど、中心市街地活性化を図る上で重要なパートナーとなっている。

キーパーソンからのコメント

プラザハウステナント会
世話役長 仲本 清次



個性とハーモニーを大切に

当テナント会は各店舗のオーナーが集い、毎月一回の定例会を実施。売上状況や集客、売上向上と施設の活性化に向けて話し合いを重ねています。施設を取り巻く商圈の環境は年々激しく変化しますが、業種も様々なオーナーの皆さんとのコミュニケーションを大切にすることで、商店街組織としてのチームワークを強化してきたと自覚しております。特に2015年4月、近隣に大型ショッピングモールが開業したことにより、以前に増して連帯感が強まり、現状分析や課題解決に対する意識もより高くなったと確信しております。



プラザハウステナント会
テナント会事務局 友寄 亮

旅するショッピングセンターのおもてなし

創業1954年、三世代に渡るお客様がご来場される歴史ある当施設には、この地域らしい異国情緒が求められており、「旅するショッピングセンター」をコンセプトにイベントや販売促進、施設内の演出や装飾を手がけています。私たちテナント会員も、商業を通して幅広い好奇心と興味を持ち続け、培った歴史を大切に、文化を発信し、そしてエキゾチックであることを忘れずに、これからも夢を育み、お客様のライフスタイルをより豊かにするショッピングセンターでありたいと考えています。

基本データ

所在地	沖縄県沖縄市久保田
人口	約14万人(沖縄市)
電話/FAX	098-932-4480/098-933-7511
関連URL	http://plazahouse.net
会員数	40名
店舗数	40店舗(買回り品小売店24、飲食店12、サービス店4)
商店街の類型	広域型商店街
主な客層	会社員、主婦、家族連れ

商店街概要

沖縄市中心市街地は、戦後、アメリカ軍嘉手納基地の基地経済を背景として発展しながら、琉球文化とアメリカ文化が融合した独自の「琉米文化」を形成してきた。そうした歴史的経緯の下、駐留アメリカ軍関係者の消費ニーズにも対応する商業施設として、1954年にプラザハウスSCが開業した。

その後、同SCに出店するテナントが、共同繁栄と株式会社プラザハウスとの緊密な連携を目的として、1997年にプラザハウステナント会を設立。来場者は1日約2700名で、約7割が沖縄県全域の住民、3割は県外・国外観光客となっている。